



「安全週間特集」

小集団での労働災害未然防止活動

矢崎総業株式会社

～全員参加の小集団活動で労災未然防止への風土づくり～

弊社で推進している、小集団によるリスクアセスメント活動「SC サークル (セーフティ・コミュニケーション・サークル)」の紹介をします。

弊社では、これまで労働災害の減少を目的に、重大災害防止点検における危険箇所の改善、安全衛生事業場診断による安全衛生管理体制の強化、機械設備の本質安全化・リスクアセスメントを推進してきました。その結果、労災発生件数は年々、減少傾向にありました。しかし、非常作業における労働災害や生産設備に関係ない事務所などでのつまずき等による労働災害は減少せず、まだまだ不安定な状況にありました。このような事態を解決するために、安全衛生トップより災害「0」の方針表明がされました。この方針を受けて労働災害「0」を目指すためには、危険有害箇所を網羅的にチェックし対策を施す仕組みが必要であると判断しました。その解決策として各職場の管理職を含めた全員参加の小集団をつくり、工程・事務所問わず危険箇所をメンバーで見つけ合いリスクアセスメントを実施し、リスクに応じて対策を実施するといった活動を2010年よりスタートさせました。これが弊社で進めているSCサークルです。

SCサークル活動を推進した結果、職場のコミュニケーションが活性化し、危険箇所を見つけるための危険意識が向上し、さらにはリスクアセスメントの手法が当社内で浸透してきました。一時は、増加傾向にあった労働災害も着実に減少し、現在も326サークルが労働災害「0」を目指し、労働災害の未然防止のため日々活動しています。

今後も、社内のリスクを低減させて安全で快適な職場環境をつくるため、全員参加でSCサークルに取り組んでいく所存です。



【SCサークル活動風景】



【SCサークル改善事例】

見通しの悪い通路へドーム型ミラーの設置